

地震発生 避難の流れ

- 1 自身・家族の安全確保
- 被害状況等の情報収集

(必要な場合は避難場所へ)

- 状況に応じ順に移動
- ① 地区災害時待避所 や 公園などの広い場所
 - ② 地区防災センター 内 避難場所(校庭等)※1
 - ③ 広域避難場所

※1 校門は市担当職員が開錠するため、時間がかかる場合があります。裏面「地震が起きた時の行動」を参照してください。

- 2 一旦帰宅・自宅被害の確認

地区本部へ報告
自治会等により地区本部の有無は異なります。

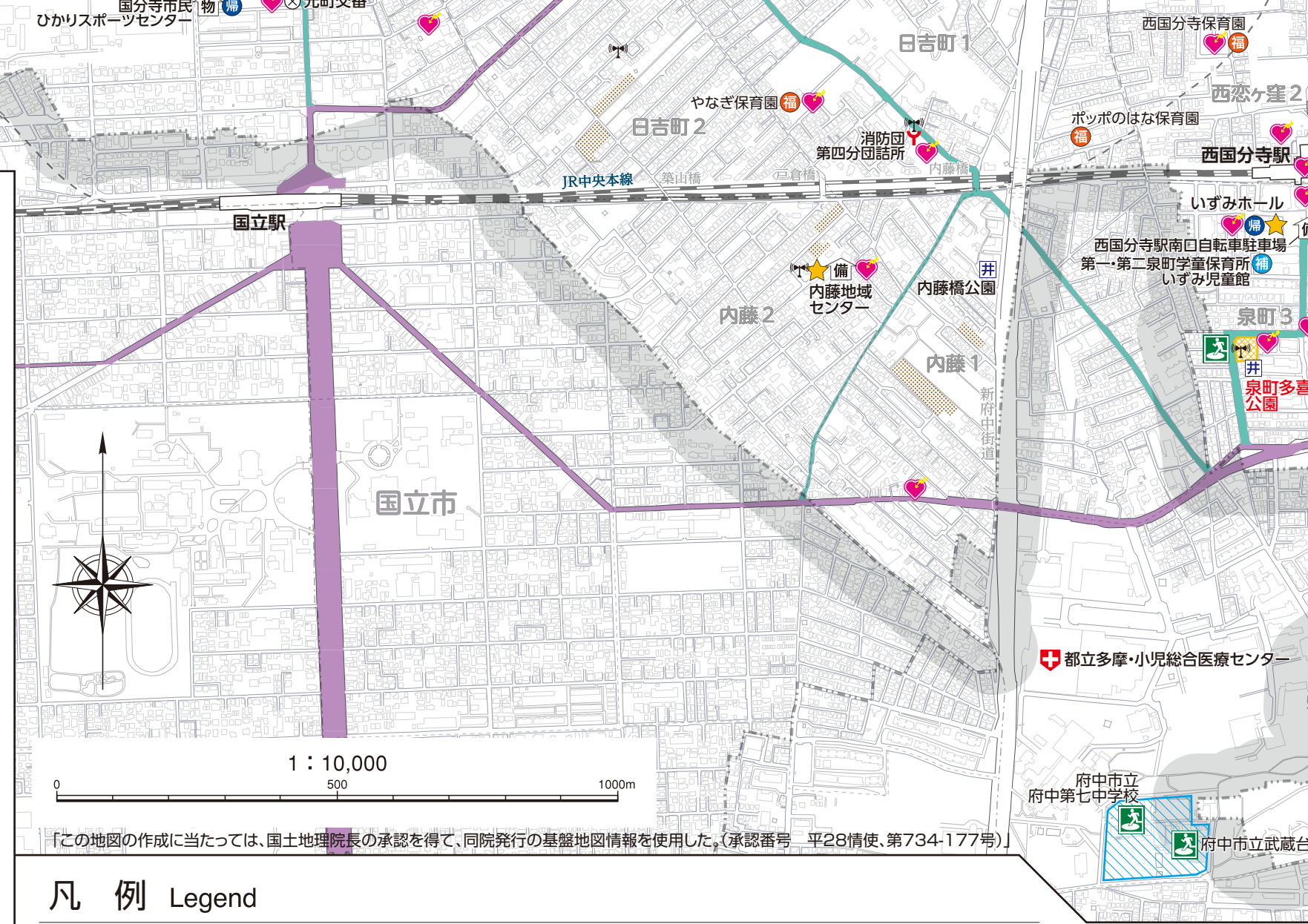
- 3 避難所生活・在宅避難

自宅生活が可能：在宅避難

自宅生活が困難：地区防災センター 内の避難所へ

避難所生活が困難な要配慮者は、
★二次避難所・福祉避難所へ※2

※2 施設は点検後に開放するため、時間がかかる場合があります。移動に際しては市等の誘導指示に従ってください。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平28情使、第734-177号)

凡例 Legend

防災関連施設 Main disaster prevention facility

- 国分寺市災害対策本部(市役所)
Kokubunji City headquarters of disaster control (City Hall)
- 地区災害時待避所(協力農地)
Temporary evacuation place
- 地区防災センターに避難する際、身の安全を確保するために緊急に避難することができる場所。地主さんの協力を得ています。変更となる場合があるので、現地の看板を目安にしてください。
- 地区防災センター
Local disaster prevention center
- 災害時に地域の防災拠点となる場所。市立小中学校、都立国分寺高校、東京経済大学の17か所。避難場所、避難所、医療救護所、情報収集・伝達の拠点となります。
- 広域避難場所
Evacuation area
- 地区防災センターが危険であると予測される場合に避難するための大規模な避難場所

- 緊急避難場所
Emergency evacuation site
- 国分寺駅、西国分寺駅の乗降客等が避難する場所
- 隣接市の避難場所
Evacuation site in the neighboring cities
- 協定により、隣接市の避難場所等が使用できます。
- 二次避難所
Secondary evacuation site
- 高齢者、障害者等の要配慮者を主に受け入れる施設
- 帰宅困難者一時滞在施設(一時滞在施設)
Temporary stay facility for stranded people
- 帰宅困難者を受け入れる施設。国分寺駅、西国分寺駅、恋ヶ窪駅、国立駅付近の施設を3日間程度は活用
- ※国分寺労政会館、都立国分寺高校、都立多摩図書館は東京都管理施設

- 福祉避難所
Welfare evacuation site
- 災害協定に基づき、高齢者、障害者等の要配慮者を主に受け入れる施設
- 補助施設
Backup facility
- 災害の状況に応じて、診療所、子どもの遊び場などを使用
- 防災備蓄倉庫
Storage of disaster supplies
- 物資集積拠点
Aid storage point
- 全国から届く支援物資
- 防災無線塔
Tower of the disaster wireless system